

「取引状況の補足」欄への記載例

売物件で取引態様が「専属専任」「専任」の場合は、取引状況の入力が必須です。取引状況を「**書面による購入申込みあり**」「**売主都合で一時紹介停止中**」へ変更する際には「**取引状況の補足**」欄には、**変更原因が発生した日**や**詳細な条件**等を明示するよう、規程やガイドラインに定められています。以下、記載例をご案内します。

取引状況を「書面による購入申込みあり」に変更する場合

●客付け業者から購入申込みを**受けた**状態のときに設定します。

記載例	説明
購入申込み書面受領日: ○年○月○日	客付け業者から購入申込みを受けた日時を入力して下さい。 購入申込みは書面(購入意思、署名、日付が記載されたもの)で、 電子メールやFAXも書面に含まれます
購入申込み書面受領日:○年 ○月○日、ただし売主意向に より新規受付継続中	客付け業者から購入申込みを受けた場合であっても、売主の意向 により引続き購入申込みを受領することは可能です。その場合は、 購入申込みを受けた日時と共に、その旨を明示して下さい
購入申込み書面受領日: ○年○月○日、停止条件付	購入申込みは書面で受領されたが、口頭で「買換えが成立したら 正式に申込みとする」と言われた場合、書面を受領した日付と共に、 「停止条件付き」である旨を明示して下さい

取引状況を「売主都合で一時紹介停止中」に変更する場合

●売主の事情により**一時的に**物件を紹介できない状態のときに設定します。

記載例	説明
売主都合により○年○月○ 日まで紹介停止 売主申し出日:○年○月○日	売主の意向により紹介全体(物件詳細回答、現地案内の受諾)を 一時停止する場合、売主の申し出を受けた日から2日以内(休業 日を除く)に取引状況を「売主都合で一時紹介停止中」に変更し、 「取引状況の補足」欄には売主の申し出日とともに、可能な範囲で 具体的な期間・内容等を明示して下さい

取引状況を「公開中」に戻す場合

●客付け業者から購入申込みを**受けられる**状態のときに設定します。

記載例	説明
公開再開日:○年○月○日	購入申込みが撤回された場合等、購入申込みを受けられる状態 に戻った場合は、公開再開日を記載して下さい

その他の記載例 「公開中」の場合

記載例	説明
売主都合で、土・日の午前中 のみ現地案内可	売主の意向により物件案内を時間等の条件をつけて制限する場合、 取引状況は「公開中」のままで、「取引状況の補足」欄には「物件案 内ができないこと」と具体的な期間等を記載して下さい